



年末年始のご案内

年末年始の休診日は12月29日(月)午後～1月4日(日)となっております。
 患者様にはご迷惑をお掛けいたしますがご理解のほど、お願い申し上げます。
 当院の救急当番日は**12月30日(火)、1月2日(金)**となっております。
 ※12月30日の当番は小児科を除きます。
 ※救急の患者様は24時間随時対応致します

ごあいさつ

院長 貝嶋 光信

皆様いかがお過ごしですか？ 気がつけば今年も残り少なくなりましたね。
 本年、2014年も「激動の」という形容詞が冠せられる年でした。振り返ると、世界を揺るがせた「ロシアによるクリミア・セヴァストポリの編入」が3月にありました。国内的には何と云っても4月に消費税が5%から8%に引き上げられ、その後の景気の落ち込みを招くこととなりました。



同じく4月には「今年1月に世紀の大発見と呼ばれ一躍時の人となっていた小保方晴子氏の“STAP細胞”に関するねつ造疑惑」という「理研事件」が世間を賑わせました。さらにギニアを始めとする西アフリカで昨年12月頃から流行し始めていたエボラ出血熱は6月には急拡大し、先進国にも影響が出始める深刻な様相を呈してきています。追いかけるように8月にはデング熱が日本国内で感染が確認されました。そんな中、同じ月にテニスの全米オープンで錦織圭選手が準優勝し、これは久しぶりに明るいニュースとして駆け巡りました。しかし9月には御嶽山が突然噴火し多数の犠牲者が出るという悲しいニュースがありました。10月6日、今年のノーベル物理学賞が発表され、青色発光ダイオードを開発した赤崎勇、天野浩、中村修二の3氏がこれに選ばれ、またも歓喜に沸きました。

最後に今年出会った稲盛和夫氏の素敵な金言をご紹介します。
 「今日の成果は過去の努力の結果であり、未来はこれからの努力で決まる。」
 この言葉を胸に刻んで、北農会恵み野病院は来年も地域医療に当たっていこうと思っています。
 皆様どうぞ良いお年をお迎え下さい！
 (2014/11/28記)

冬季期間の正面玄関一部閉鎖のお知らせ

待合室への外気侵入を防ぐため、
 冬季期間中（概ね11月中旬から4月末迄）
 正面玄関の一部を封鎖させていただき、
 左側出入口をご利用いただいております。
 ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解と
 ご協力をお願いいたします。



病院敷地内禁煙のお知らせ

平成20年7月1日より、当院の**病院建物内および駐車場、通路を含む敷地内での喫煙は禁止**となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



恵み野病院 リハビリテーション科のご紹介

リハビリテーション科 技士長 本田 欣誠

こぼれる笑顔を目指して

スタッフ



ときどき患者様を和ませるのに大活躍する、犬や猫の電動ぬいぐるみのスタッフもいます。

理学療法士：7名（現在2名が育児休業中）

作業療法士：4名

言語聴覚士：3名

受付助手：1名

計15名、20代～40代の優しく、元気なスタッフです。

理学療法室（外来棟4階）

病気や怪我などで座ったり、立ったり、歩いたりしづらい患者様に対して、医師からの処方をもとに1人ひとりに応じた運動療法を行うことで、生活の中で動きやすくなることを目指していきます。痛みなどに対し、牽引や電気治療も行っています。



作業療法室（外来棟4階）

主に、手や腕を使う日常生活の動作をしやすいように、運動療法や作業（ちぎり絵、塗り絵など）を行います。





言語聴覚療法室（外来棟4階）

話しづらくなったり、理解がしづらくなったり水分や食べ物を飲み込みづらくなった患者様に対し、課題や発音の練習、飲み込みの練習などを行います。

受付（外来棟4階）

患者様が作った折り紙の作品やいただいた人形などを置いています。右側は季節感を感じていただくために季節に応じた飾りつけをしています。



リハビリテーション科では、主に脳梗塞などの脳血管疾患や骨折などの運動器疾患、肺炎や肺気腫などの呼吸器疾患、心筋梗塞や狭心症などの循環器疾患、内科や外科のご病気で動きづらくなった患者様など幅広いご病気を対象としてリハビリテーションを行っています。

また、日々の臨床現場からや月1回の勉強会、外部での研修会、学会などを通して研鑽を心掛け、よりよいリハビリテーションの提供を目標としています。望まれる生活に近づき、多くの方の笑顔が生まれることを目指していきます。

新たな難病医療費助成制度についてのお知らせ

平成26年5月30日に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が公布され、それに伴い、平成27年1月1日から、新たな難病医療費助成制度が始まります。難病医療費助成制度の大きな変更点は以下の3点です。



- ① 月額自己負担限度額の金額・算定方法の変更
- ② 指定医療機関、指定医制度
- ③ 医療費助成制度の対象疾患の拡大

※詳しくは北海道庁のホームページ「特定疾患グループ」を参照願います。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/tokusitu/tokuteishikkann.htm>



現在、特定疾患医療受給者証をお持ちの方で、更新手続きを終えられていない方は、平成27年1月から「新規扱い」になってしまいますので、平成26年12月26日（金）までに管轄保健所にて更新手続きをお願いします。

ご不明な点等ありましたら、管轄の保健所までお問い合わせ願います。



「地域の健康講座」に行ってきました

地域医療連携室 松井

11月20日たよれーるきたの日、恵み野南会館で、12月4日たよれーるみなみの日、大町憩いの家で、本年8月の貝嶋院長の講演に引き続き、「お医者さんによる地域の健康講座」として、当院 泌尿器科の橋本 博副院長が、「排尿のトラブルQ&A」と題して講演をいたしました。

尿をためられない（頻尿や尿失禁）蓄尿症状、スッキリ排尿できない排尿症状、残尿感などの排尿後症状、膀胱や尿道の痛みなどの痛みや違和感について、スライドをまじえてわかりやすく説明をしていただきました。恵み野で40名、大町で38名の参加がありました。講演のあとは、恒例の質問コーナーでは、日ごろ聞きにくい“おしっこの話”の相談が参加された皆様から、寄せられていました。

今回の講演は、12月18日に和光憩いの家で3回目を実施する予定です。
今後も地域に出向き、こうした活動が継続的に実施できるようにしていきたいと思ひます。

